

第2回アンケート  
開かれた学校をめざして

## 1 調査の概要

この報告書は、平成11年度第2回区政モニターアンケート「開かれた学校をめざして」の回答をまとめたものです。

## 2 調査目的

子どもたちを取り巻く環境は多くの課題を抱えており、これからは、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちを育成していくことが重要であると言われていています。家庭・地域に開かれた学校について、区民の意識と現状を探り、今後の施策に反映させることを目的として調査を行いました。

## 3 調査方法

調査票・回答とも郵送

## 4 実施時期

平成11年8月

## 5 対象者数、回答人数

50人

## 6 回答者の性別・年代別・職業別・ブロック別の構成（年代はH11.4.1現在）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	3	2	0	2	7	2	16
女	5	9	8	7	5	0	34
合計	8	11	8	9	12	2	50

職業別	自営業 事業主	管理職 自由業	事務職 業務職	労務職 サービス業	パート タイマー	学生	主婦	無職	合計
人数	5	2	4	0	4	3	18	14	50

ブロック	17°ブロック	27°ブロック	37°ブロック	47°ブロック	57°ブロック	67°ブロック	77°ブロック
人数	5	2	3	3	6	5	5
ブロック	87°ブロック	97°ブロック	107°ブロック	117°ブロック	127°ブロック	137°ブロック	合計
人数	3	2	6	5	3	2	50

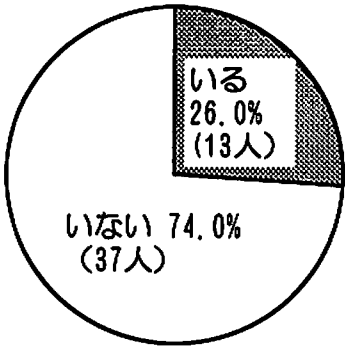
## 7 調査結果・分析の見方

回答の比率（％）は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100％を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100％に満たないまたは上回ることがあります。回答者数が未記入の場合は、その設問の回答者数は50人です。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

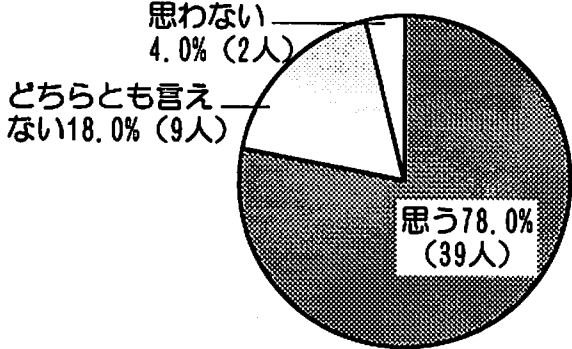
## 要 旨

問1	義務教育中の子どもの有無 「いない」 「いる」	74.0% (37人) 26.0% (13人)
問2	今の学校教育に問題があると思うか 「思う」 「どちらとも言えない」	78.0% (39人) 18.0% (9人) (計48人)
問3	今の学校教育の問題点(48人中、複数回答) 「道徳教育が低下している」	42.0% (21人)
問4	「いじめや不登校」をなくす方法(複数回答) 「家庭で、小さい時から相手を思いやることを教える」	74.0% (37人)
問5	学校の完全週5日制についてどう思うか(複数回答) 「親とふれあう時間が増える」	38.0% (19人)
問6	学校が完全週5日制になったとき、子どもに望む休日の過ごし方(複数回答) 「興味のある分野の学習をする」	54.0% (27人)
問7	学校・家庭・地域の連携において家庭で行うべき教育 「基本的なしつけをする」	52.0% (26人)
問8	学校・家庭・地域の連携における地域の役割 「社会生活に必要なルールを身に付けさせる」	52.0% (26人)
問9	学校・家庭・地域の連携のために進めるべき区の施策(複数回答) 「地域の人が講師をするなど多様な授業を取り入れる」 「学校が家庭・地域の協力を得て、非行防止など様々な課題に取り組める仕組みをつくる」	44.0% (22人) 42.0% (21人)
問10	あなたが地域で協力できること(複数回答) 「非行防止のため地域の子どもに気軽に声をかける」 「学校行事に積極的に参加する」	56.0% (28人) 50.0% (25人)
問11	これからの学校教育に期待すること(複数回答) 「集団生活に必要なルールを教える」 「基礎的な学力をつけさせる」 「情操・道徳教育を充実させる」 「教職員の資質を向上させる」	44.0% (22人) 42.0% (21人) 42.0% (21人) 40.0% (20人)

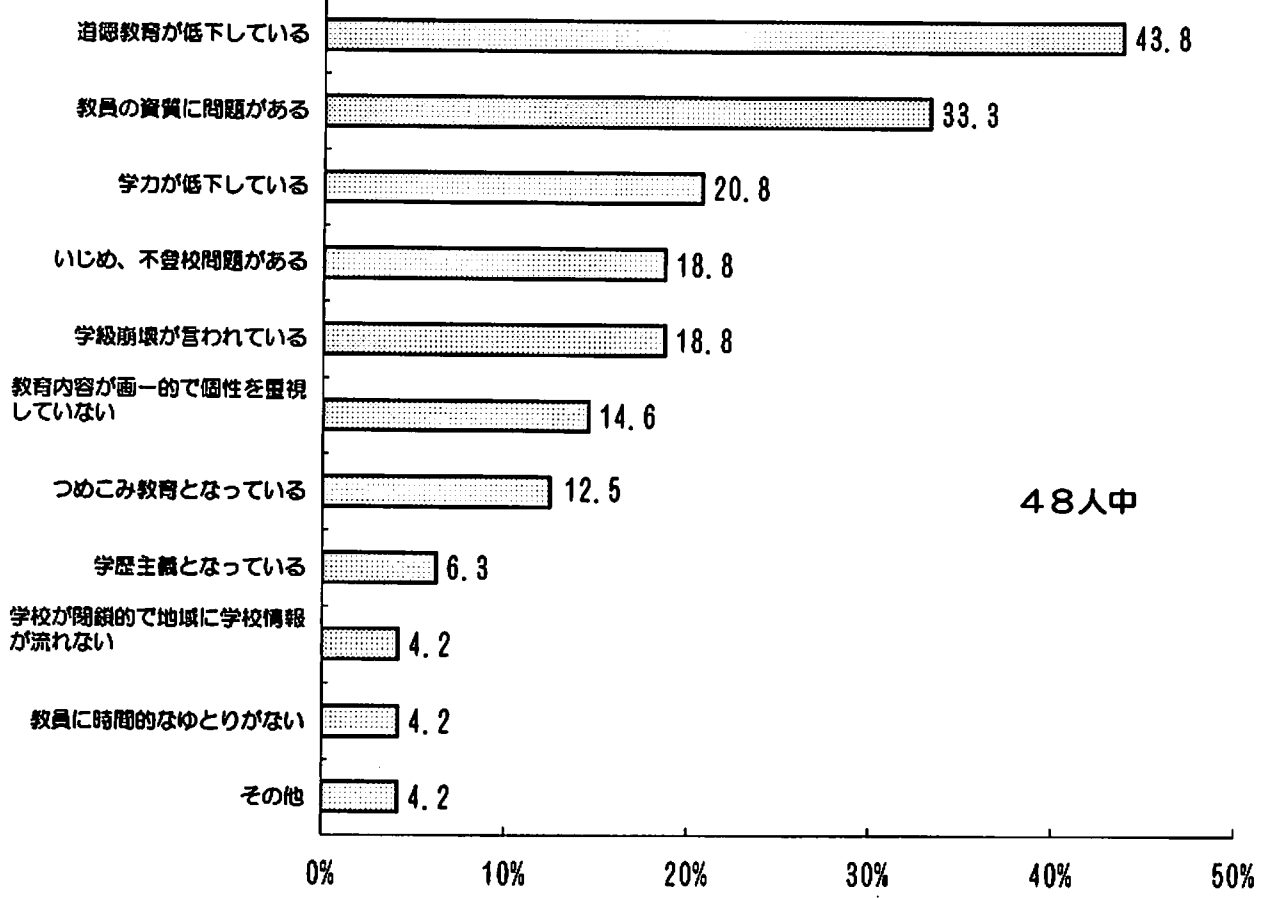
問1 同居している家族の中に、義務教育中のお子さんがありますか。



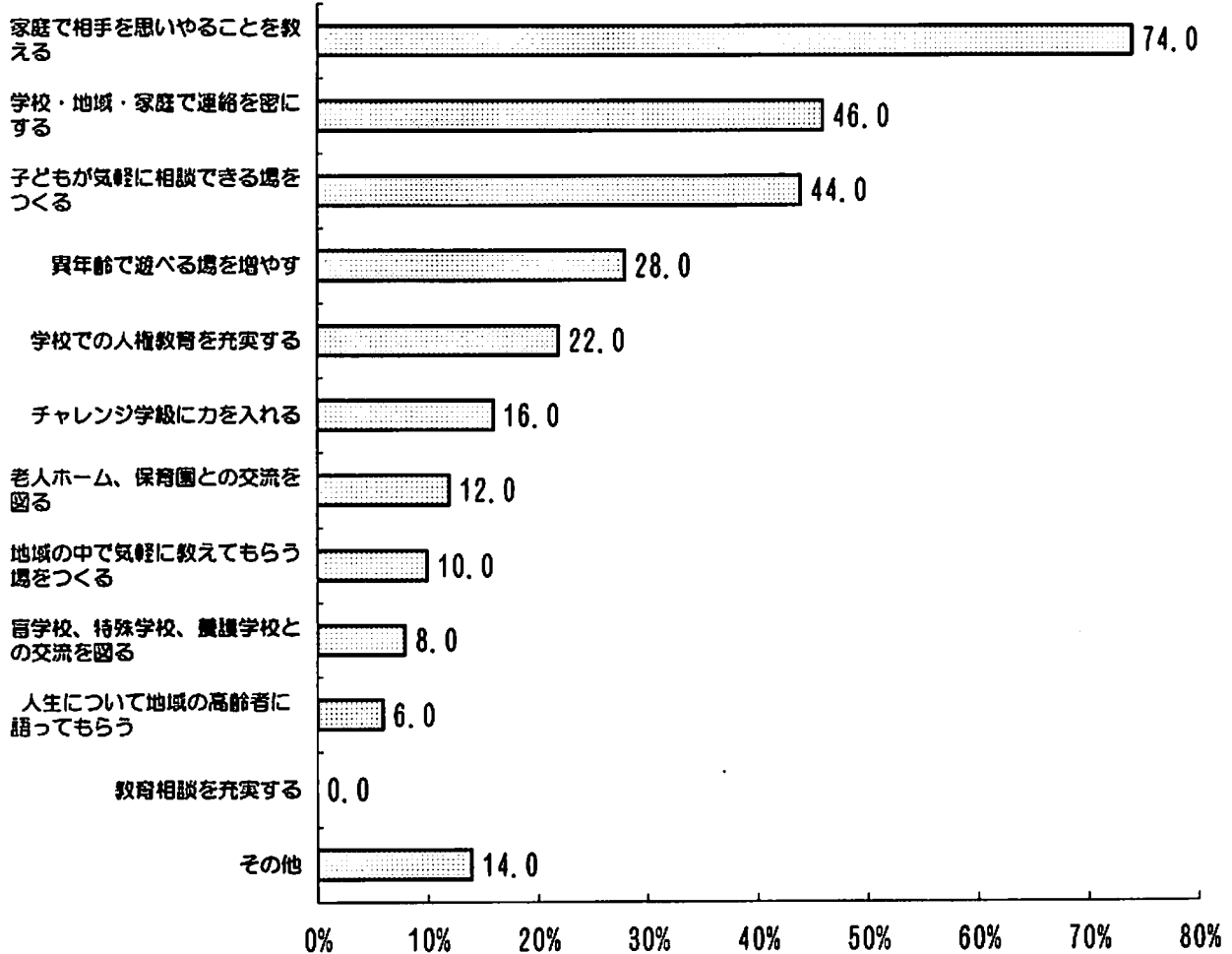
問2 今の学校教育に問題があると思いますか。



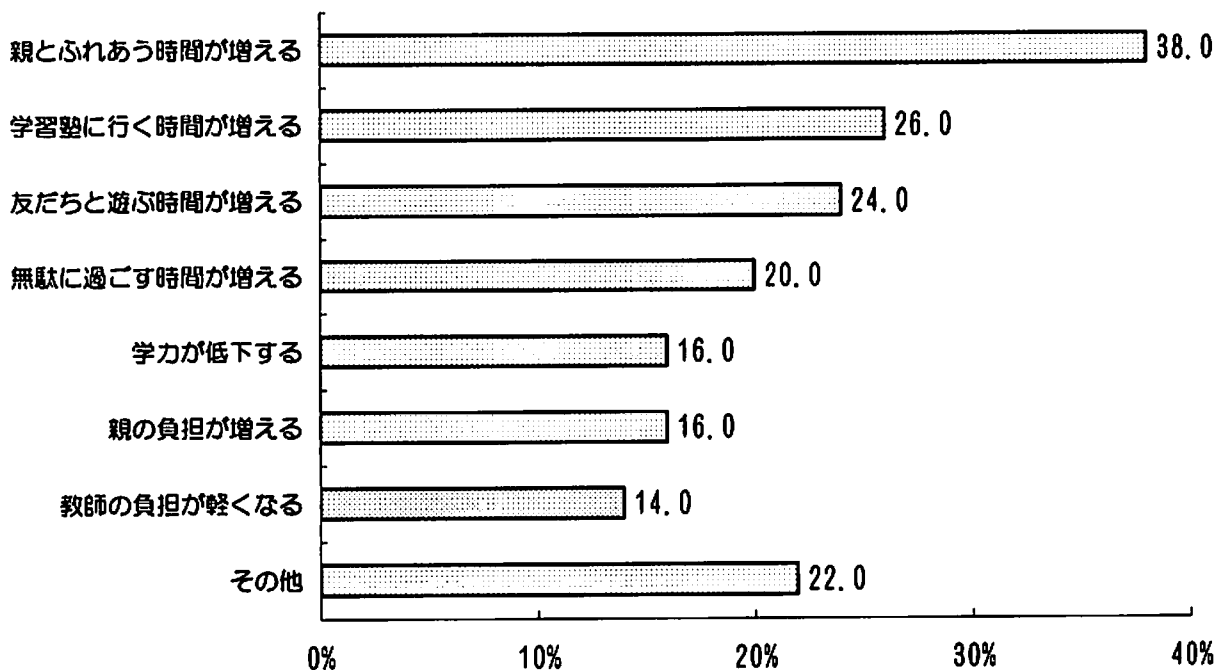
問3 今の学校教育に問題が「ある」もしくは「どちらとも言えない」と答えた方にお聞きします。特に問題だと思うことはどのようなことですか。(2つ以内)



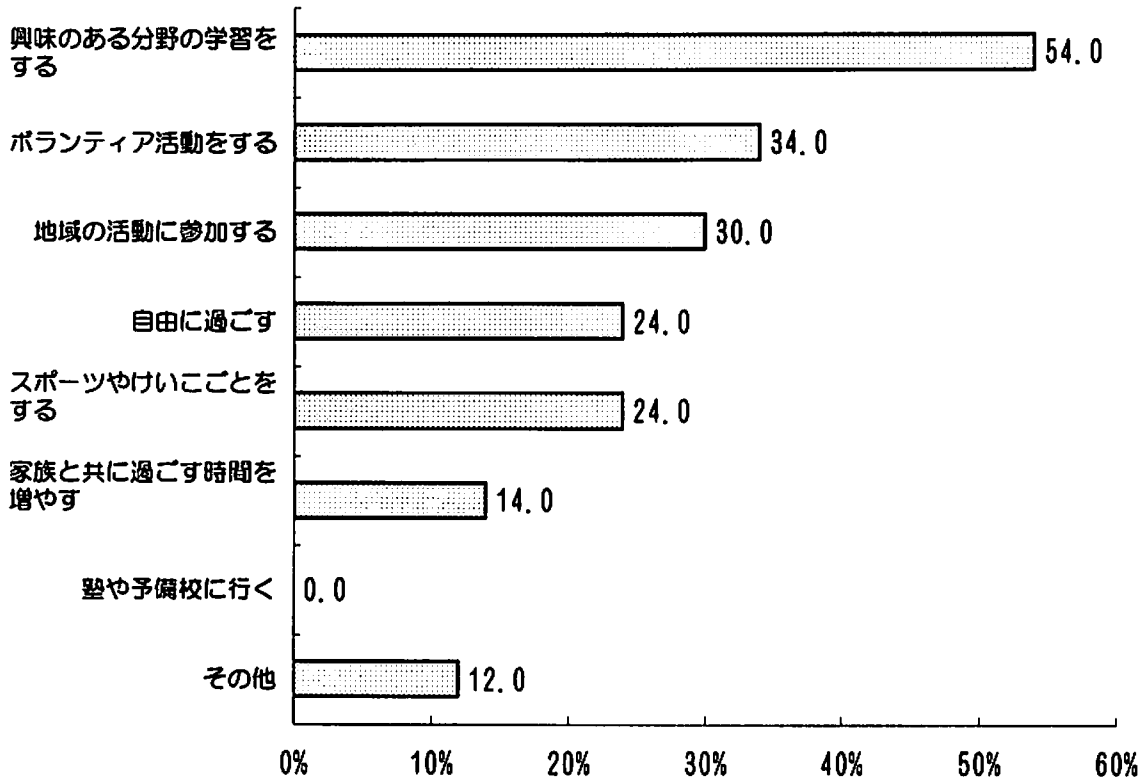
問4 「いじめや不登校」は、どのようにすればなくなるとお考えですか。(3つ以内)



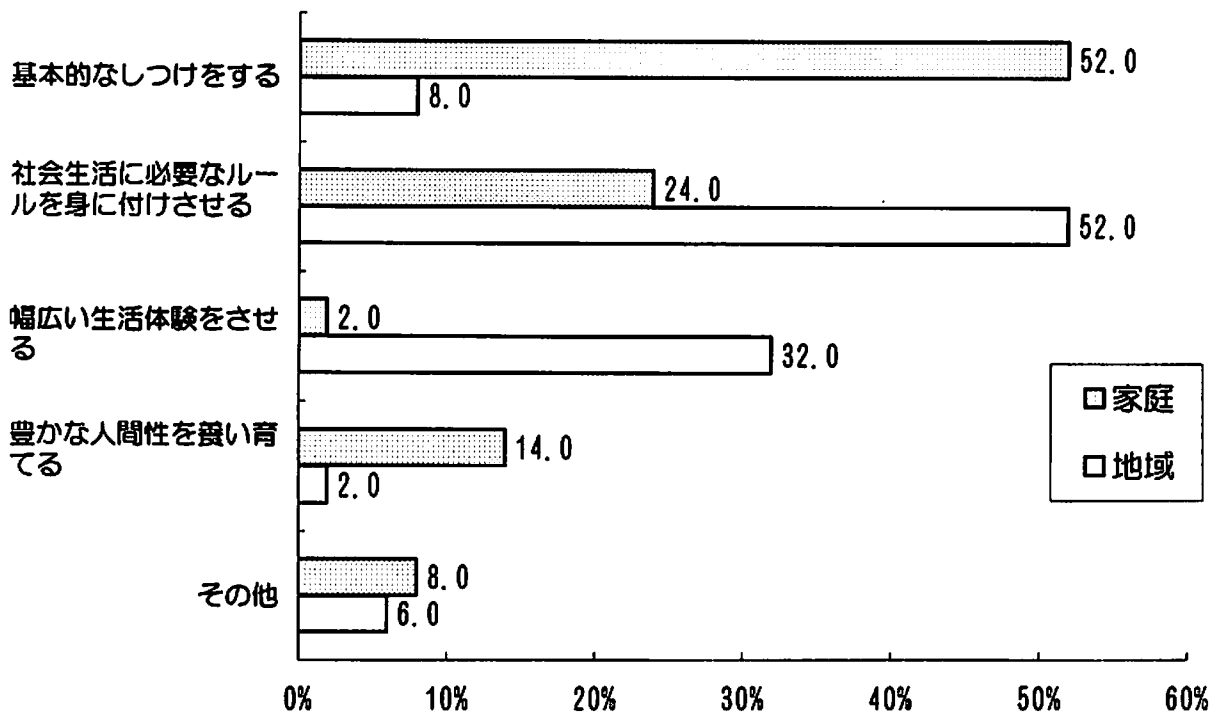
問5 平成14年度には学校が「完全週5日制」になることについてどう思いますか。(2つ以内)



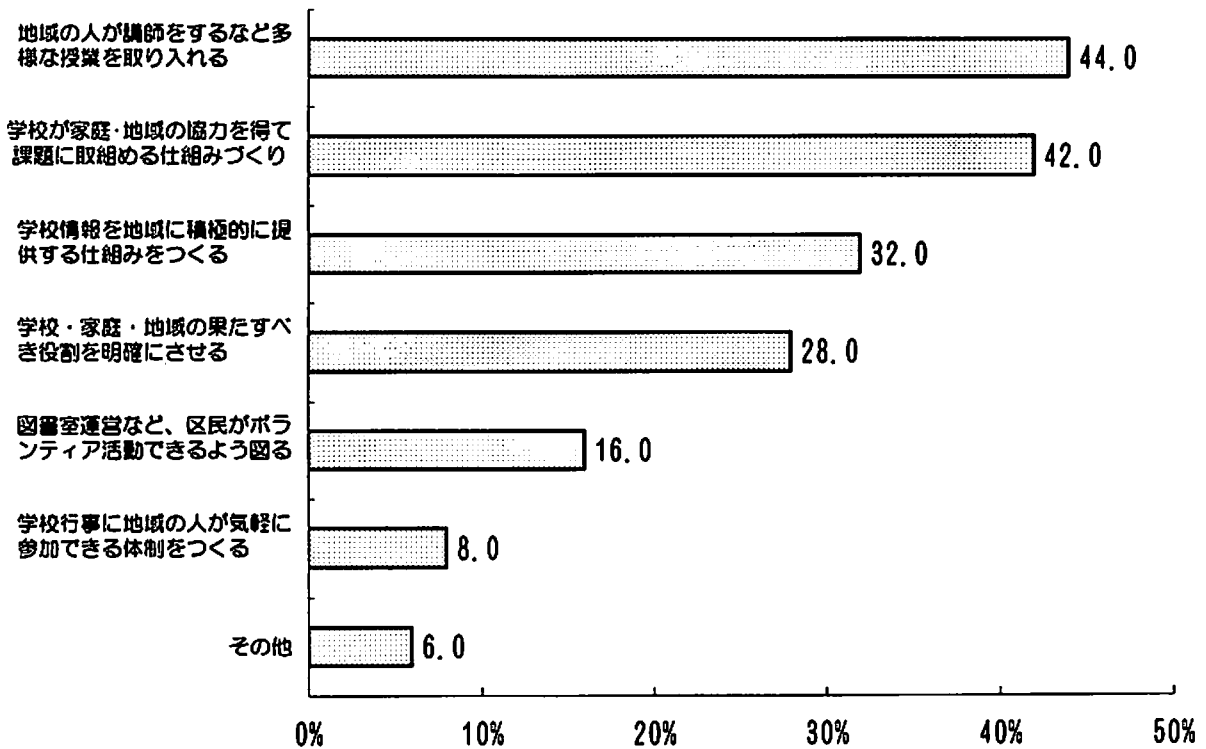
問6 「完全週五日制」になったとき、お子さんには休日をどのように過ごしてほしいとお考えですか。いない方も望ましいと思うことをお答えください。(2つ以内)



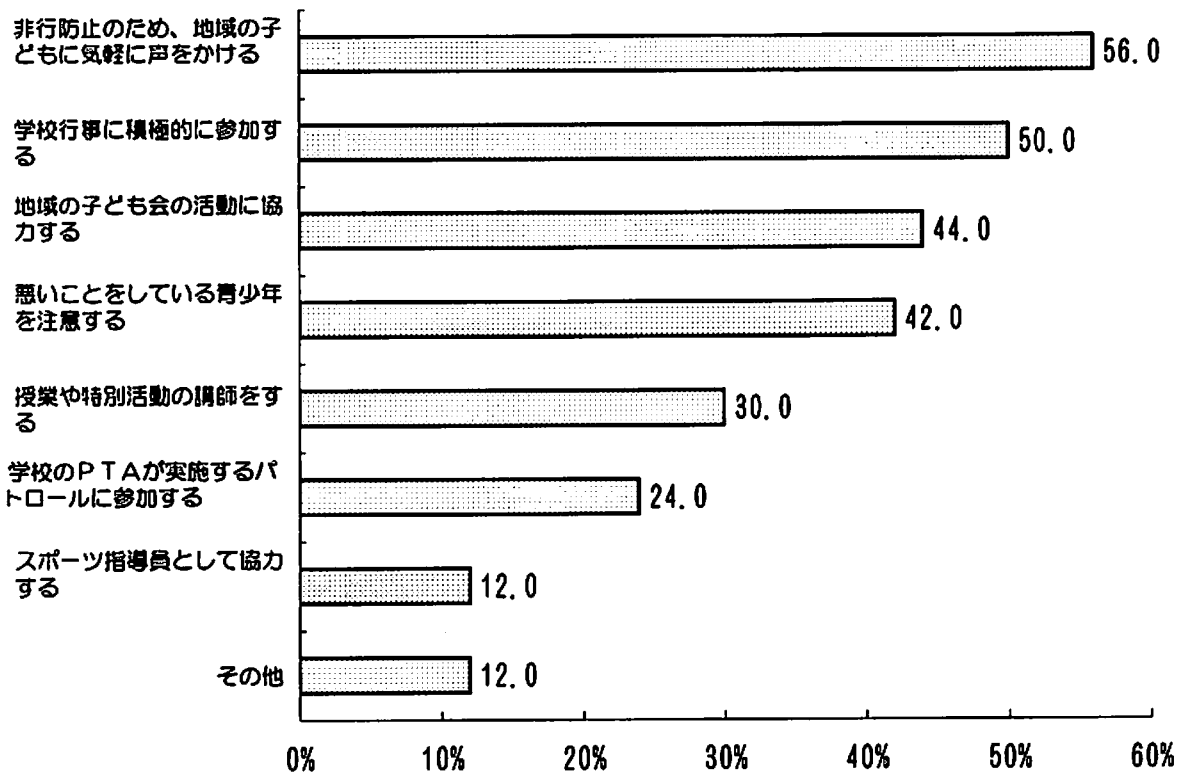
問7、問8 学校・家庭・地域の連携において、家庭ではどのような教育をすべきだと思いますか。また、地域はどのような役割を受け持つのが良いと思いますか。



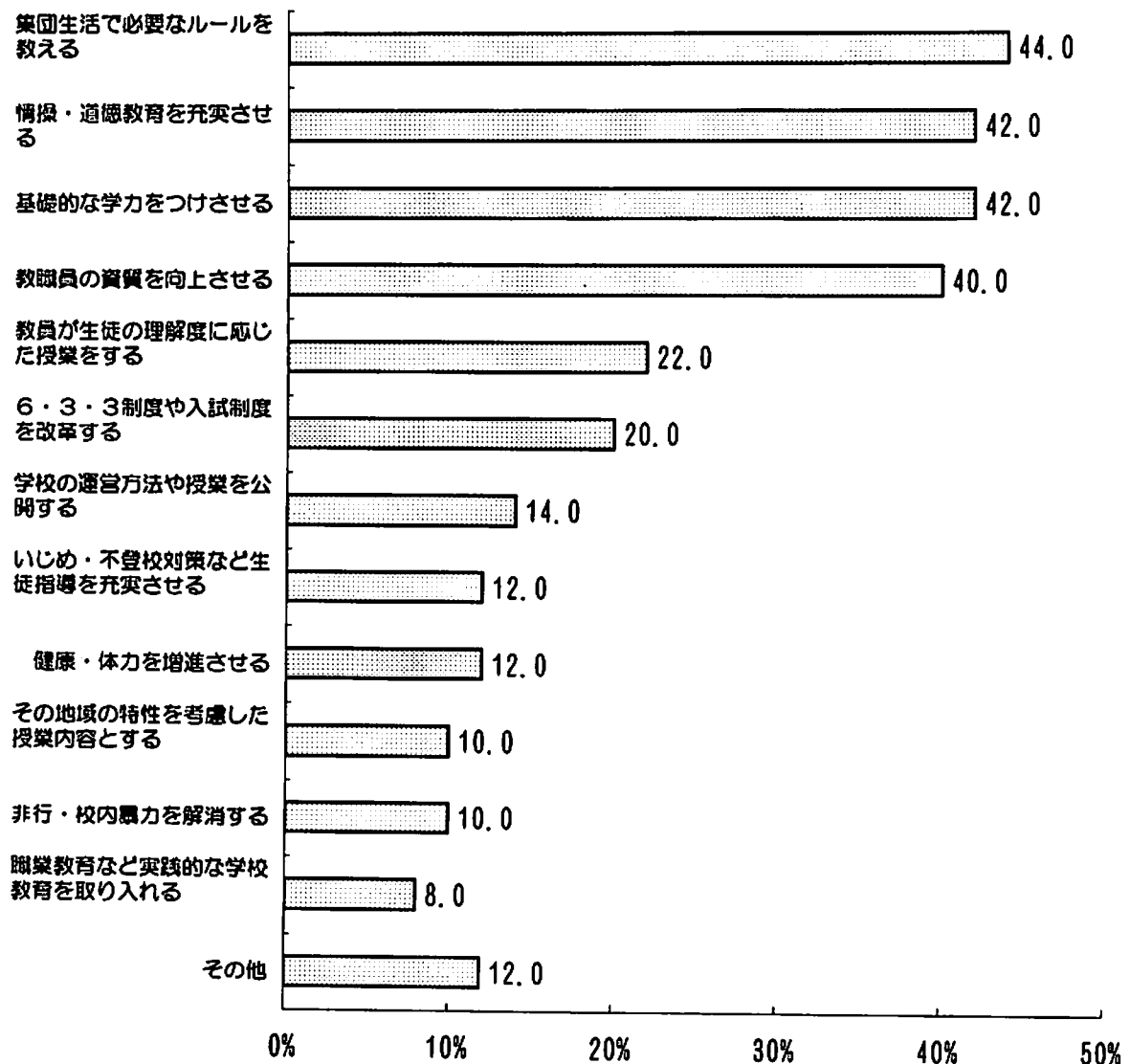
問9 学校・家庭・地域が連携するために、区はどのような施策を進めたら良いとお考えですか。(2つ以内)



問10 あなたが地域で協力できることは何だと思えますか。(いくつでも)



問11 これからの学校教育に期待することは何ですか。(3つ以内)



問12 足立区の学校教育について、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

- ・ 軟弱で計算高い人達が多いなか、生活力にあふれ、情に厚い足立区の友達に接するとホッとします。「さすが足立区出身、学力はないけど生活力が桁違い」と言われるような、生活力にあふれた子供らしい元気な子供を増やすようにしてもらいたい。(20代 女性)
- ・ 生徒達は教師が「人として自信のある人間かどうか」を敏感に感じとる。人間的に魅力のある大人達で、より良い教育の形を作らなければいけない。そうでないと、今の子供達は納得しない。(20代 女性)
- ・ 人間の価値観が物や金や名声を重視しすぎている。これからは家庭も学校も生命や心の大切さを重視し、子供を教え育てていくべきだ。そのためにも教師の資質が問われる。学校は、親、子供、教師相互の信頼を築くことが大事であり、人間教育の実践の場であってほしい。(50代 女性)



- 多すぎるカリキュラムを減らし個性に合った教育が必要だ。また、今の家庭では社会生活のルールを身に付けることはできないので、学校がやるしかない。道徳教育に力を入れ、ボランティア活動等に参加した生徒には、勉強ができなくても単位を与えるようにしてはどうか。 (30代 女性)
- 私たちにできることは、保育園等に任せきりにせず、親が主体性を持って、乳幼児期に家庭で子供の土台をつくること。区でももっと義務教育以前の教育に力を注いでほしい。小学校で基本的な生活習慣を問題にしているようでは、手遅れである。 (60代 女性)
- 学級崩壊が幼稚園から始まっている現状では、悪者を探すのではなく社会全体で教育を考えなくてはならない。親のライフスタイルが多様化するなか、子供達の生活環境にも差があり学校教育のみでは解決できない。問題解決の手立てとして、学校・家庭・地域の連携が言われて久しいが、果たして連携できているのか。学校側は都合の悪いことは外に出さないが、学校の問題は親の責任であり地域の問題である。しつけを学校に押し付けた経過もあるが、教師にも自信を持ってもらい、お互いに信頼しあって三者連携すべきである。 (50代 女性)
- 親そのものが問題の発生源であることが多い。まず、家庭で教えることは「自由とは責任が伴う、平等とは機会の平等である、人に優しくする」ことだ。人間としての最低限のエチケットを教えるため、家庭・学校・地域が協力しなければならない。 (60代 男性)
- 山の手の区と違い、足立区は良い意味で庶民的で地域に対する愛着心が強い。学校側が非常に努力していると感じる。しかし一方で、公立中学校の生徒の学力低下も否めないのも、学力を上げる教育に力を入れてほしい。また、もっと家庭でのしつけや責任観念も強調したい。 (40代 女性)
- 親の無力・無関心・無責任と教職員の無策・自信喪失・無気力が教育における諸問題の原因である。家庭と学校の責任転嫁で改善はされない。行政や地域が、家庭や学校の応援をしなければならないのではないか。 (60代 男性)
- 学校は地域の素材を授業に取り入れ、地域（商店街や地元の工場等）は開放し協力すべきだ。こうして、地域について子供達が愛着を持つことが連携の第一歩である。また、子供達の多様化が叫ばれている今日、自然教育のカリキュラムを体験可能なものにしてほしい。 (20代 男性)
- 区内に大学がないため、学園を中心としたまちづくりがされていない。しかし、図書館の資料は充実し、子供達が広く物事を吸収する場所となっている。義務教育で学ぶことは社会の基本である。心身とも柔軟なうちに教師や親の指導のもと、一生懸命勉強するとともに、学校が個性の出会いの場となれば、いじめや不登校がなくなる。 (30代 女性)

## 平成11年度 第2回区政モニターアンケート

### 《開かれた学校をめざして》

氏名 \_\_\_\_\_

子どもたちは、将来への支えでありかけがえのない存在です。しかし、いま、子どもたちを取り巻く環境は、多くの課題を抱え、決して安心できる状況ではありません。国でも教育改革に関する各種の提言がなされています。足立区でも、学校、家庭、地域の連携協力のもと21世紀を担う子どもたちの育成に取り組まなければなりません。

このようなことから、区政モニターの皆様のご意見をお聞きし、今後の学校教育を検討する上での参考にさせていただきたいと思っております。よろしくご協力をお願いいたします。

※設問に、特にことわりがない限り1つを選んでください。

※このアンケートでは、学校教育とは、小学校・中学校の義務教育とします。

問1 あなたの同居している家族の中に、義務教育中のお子さんがありますか。

- (1) いる
- (2) いない

問2 あなたは、今の学校教育に問題があると思いますか。

- (1) 思う
- (2) どちらとも言えない
- (3) 思わない

問3 問2で(1)「思う」と(2)「どちらとも言えない」を選んだ方にお聞きします。特に問題だと思うことはどのようなことですか。 (2つ以内)

- (1) 教員の資質に問題がある
- (2) 学力が低下している
- (3) 道徳教育が低下している
- (4) いじめ、不登校問題がある

- (5) 学級崩壊が言われている
- (6) 学歴主義となっている
- (7) つめこみ教育となっている
- (8) 教員に時間的なゆとりがない
- (9) 教育内容が画一的で個性を重視していない
- (10) 学校が閉鎖的で地域に学校情報が流れない
- (11) その他（具体的に－ )

（ここからは全員の方がお答えください。）

問4 「いじめや不登校」についてお聞きます。「いじめや不登校」は、どのようにすればなくなるとお考えですか。 （3つ以内）

- (1) 家庭で、小さい時から相手を思いやることを教える
- (2) 学校での人権教育を充実する
- (3) 学校・家庭・地域で連絡を密にする
- (4) 子ども会活動など、異年齢で遊べる場を増やす
- (5) 盲学校、特殊学校、養護学級との交流を図る
- (6) 老人ホーム、保育園との交流を図る
- (7) 授業で理解できなかったことを、地域の中で気軽に教えてもらう場をつくる
- (8) 子どもがいつでも気軽に相談できる場をつくる
- (9) 人生は多様であることを地域の高齢者に語ってもらう
- (10) チャレンジ学級（不登校児対策）に力を入れる
- (11) 教育相談室を充実する
- (12) その他（具体的に－ )

問5 平成14年度には学校が「完全週5日制」になります。このことについてどう思いますか。 （2つ以内）

- (1) 親とふれあう時間が増える
- (2) 家庭での親の負担が増える
- (3) 友だちと遊ぶ時間が増える
- (4) 無駄に過ごす時間が増える
- (5) 学習塾に行く時間が増える
- (6) 学力が低下する
- (7) 教師の負担が軽くなる

(8) その他（具体的に－ )

問6 「学校完全週5日制」になったとき、あなたのお子さんが、休日をどのように過ごしてほしいとお考えですか。お子さんのいない方も、望ましいと思うことをお答え下さい。

(2つ以内)

- (1) 地域とのふれあいを深める活動に参加する
- (2) レジャーなど家族とともに過ごす時間を増やす
- (3) ボランティア活動をする
- (4) 興味のある分野の学習をする
- (5) 塾や予備校に行く
- (6) スポーツやけいこごとをする
- (7) 自由に過ごす
- (8) その他（具体的に－ )

問7 これからは、学校・家庭・地域が連携して子どもを守り育てていくことが重要であると言われております。家庭ではどのような教育をすべきだと思いますか。

- (1) 基本的なしつけをする
- (2) 社会生活に必要なルールを身に付けさせる
- (3) 幅広い生活体験をさせる
- (4) 豊かな人間性を養い育てる
- (5) その他（具体的に－ )

問8 また、地域ではどのような役割を受け持つのが良いと思いますか。

- (1) 基本的なしつけをする
- (2) 社会生活に必要なルールを身に付けさせる
- (3) 幅広い生活体験をさせる
- (4) 豊かな人間性を養い育てる
- (5) その他（具体的に－ )

問9 それでは、学校・家庭・地域が連携するために、区はどのような施策を進めたらよいとお考えですか。(2つ以内)

- (1) 学校・家庭・地域の果たすべき役割を明確にさせる

- (2) 学校情報を地域に積極的に提供する仕組みをつくる
- (3) 学校が家庭・地域の協力を得て、非行防止など様々な課題に取り組める仕組みをつくる
- (4) 運動会など学校行事を実施する際、地域の人が気軽に参加できる体制をつくる
- (5) 様々な知恵を持っている地域の人が講師をするなど多様な授業を取り入れる
- (6) 図書室の運営など、可能な範囲で区民がボランティア活動できるよう図る
- (7) その他（具体的に－ )

**問 10 あなたが地域で協力できることは何だと思いますか。 (いくつでも)**

- (1) 学校行事に積極的に参加する
- (2) 授業や特別活動の講師をする
- (3) 地域の子ども会の活動に協力する
- (4) スポーツ指導員として協力する
- (5) 非行防止のため、地域の子どもに気軽に声をかける
- (6) 悪いことをしている青少年を注意する
- (7) 学校のPTAが実施するパトロールに参加する
- (8) その他（具体的に－ )

**問 11 これからの学校教育に期待することは何ですか。 (3つ以内)**

- (1) 基礎的な学力をつけさせる
- (2) 教員が生徒の理解度に応じた授業をする
- (3) 健康・体力を増進させる
- (4) 情操・道徳教育を充実させる
- (5) 集団生活で必要なルールを教える
- (6) いじめ・不登校対策など生徒指導を充実させる
- (7) 教職員の資質を向上させる
- (8) 飛び級や中高一貫教育など、6・3・3制度や入試制度を改革する
- (9) 非行・校内暴力を解消する
- (10) 学校の運営方法や授業を公開する
- (11) 全校画一的な授業でなく、その地域の特性を考慮した授業内容とする
- (12) 職業教育など実践的な学校教育を取り入れる
- (13) その他（具体的に－ )

問 12 以上の設問を通して、足立区の学校教育について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。（自由回答）

ありがとうございました。

# 集 計 表

(%)

開かれた学校をめざして	全員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回 答 者 数 (人)	50	16	34	19	31
問1 義務教育中の子どもの有無 <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 いない	74.0	87.5	67.6	73.7	74.2
2 いる	26.0	12.5	32.4	26.3	25.8
問2 今の学校教育に問題があると思うか <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 思う	78.0	93.8	70.6	78.9	77.4
2 どちらとも言えない	18.0	0	26.5	15.8	19.4
3 思わない	4.0	6.3	2.9	5.3	3.2
回 答 者 数 (人)	48	15	33	18	30
問3 今の学校教育の問題点 (複数回答) <span style="float: right;">N = 48</span>					
1 道徳教育が低下している	43.8	53.3	39.4	33.3	50.0
2 教員の資質に問題がある	33.3	40.0	30.3	27.8	36.7
3 学力が低下している	20.8	13.3	24.2	11.1	26.7
4 いじめ、不登校問題がある	18.8	26.7	15.2	22.2	16.7
5 学級崩壊が言われている	18.8	6.7	24.2	16.7	20.0
6 教育内容が画一的で個性を重視していない	14.6	13.3	15.2	22.2	10.0
7 つめこみ教育となっている	12.5	13.3	12.1	16.7	10.0
8 学歴主義となっている	6.3	6.7	6.1	11.1	3.3
9 教員に時間的なゆとりがない	4.2	0	6.1	0	6.7
10 学校が閉鎖的で地域に学校情報が流れない	4.2	6.7	3.0	11.1	0
その他	4.2	0	6.1	5.6	3.3
回 答 者 数 (人)	50	16	34	19	31
問4 いじめや不登校をなくす方法 (複数回答) <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 家庭で、小さい時から相手を思いやることを教える	74.0	62.5	79.4	68.4	77.4
2 学校・地域・家庭で連絡を密にする	46.0	50.0	44.1	36.8	51.6
3 子どもがいつでも気軽に相談できる場をつくる	44.0	50.0	41.2	42.1	45.2
4 子ども会活動など、異年齢で遊べる場を増やす	28.0	31.3	26.5	15.8	35.5
5 学校での人権教育を充実する	22.0	18.8	23.5	10.5	29.0
6 チャレンジ学級 (不登校児対策) に力を入れる	16.0	25.0	11.8	21.1	12.9
7 老人ホーム、保育園との交流を図る	12.0	12.5	11.8	15.8	9.7
8 地域の中で気軽に教えてもらう場をつくる	10.0	12.5	8.8	15.8	6.5
9 盲学校、特殊学校、養護学校との交流を図る	8.0	0	11.8	15.8	3.2

## 集 計 表

(%)

開かれた学校をめざして	全員	性別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
		10 人生は多様なことを地域の高齢者に語ってもらう	6.0	12.5	2.9
11 教育相談を充実する	0	0	0	0	0
その他	14.0	12.5	14.7	31.6	3.2
問5 学校の完全週5日制についてどう思うか (複数回答) <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 親とふれあう時間が増える	38.0	50.0	32.4	21.1	48.4
2 学習塾に行く時間が増える	26.0	31.3	23.5	31.6	22.6
3 友だちと遊ぶ時間が増える	24.0	43.8	14.7	15.8	29.0
4 無駄に過ごす時間が増える	20.0	12.5	23.5	26.3	16.1
5 家庭での親の負担が増える	16.0	12.5	17.6	15.8	16.1
6 学力が低下する	16.0	12.5	17.6	15.8	16.1
7 教師の負担が軽くなる	14.0	12.5	14.7	15.8	12.9
その他	22.0	12.5	26.5	36.8	12.9
問6 学校が完全週5日制になったとき、子どもに望む休日の過ごし方 (複数回答) <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 興味のある分野の学習をする	54.0	56.3	52.9	57.9	51.6
2 ボランティア活動をする	34.0	43.8	29.4	26.3	38.7
3 地域とのふれあいを深める活動に参加する	30.0	31.3	29.4	21.1	35.5
4 スポーツやけいこごとをする	24.0	31.3	20.6	10.5	32.3
5 自由に過ごす	24.0	12.5	29.4	26.3	22.6
6 レジャーなど家族とともに過ごす時間を増やす	14.0	12.5	14.7	15.8	12.9
7 塾や予備校に行く	0	0	0	0	0
その他	12.0	6.3	14.7	26.3	3.2
問7 学校・家庭・地域の連携において家庭で行うべき教育 <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 基本的なしつけをする	52.0	43.8	55.9	42.1	58.1
2 社会生活に必要なルールを身に付けさせる	24.0	43.8	14.7	26.3	22.6
3 豊かな人間性を養い育てる	14.0	6.3	17.6	10.5	16.1
4 幅広い生活体験をさせる	2.0	0	2.9	0	3.2
その他	8.0	6.3	8.8	21.1	0
問8 学校・家庭・地域の連携における地域の役割 <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 社会生活に必要なルールを身に付けさせる	52.0	50.0	52.9	42.1	58.1
2 幅広い生活体験をさせる	32.0	18.8	38.2	36.8	29.0
3 基本的なしつけをする	8.0	18.8	2.9	5.3	9.7
4 豊かな人間性を養い育てる	2.0	0	2.9	5.3	0
その他	6.0	12.5	2.9	10.5	3.2



# 集 計 表

(%)

開かれた学校をめざして	全員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
問9 学校・家庭・地域の連携のために進めるべき区の施策（複数回答） <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 地域の人が講師をするなど多様な授業を取入れる	44.0	37.5	47.1	52.6	38.7
2 学校が家庭・地域の協力を得て、非行防止など様々な課題に取り組める仕組みをつくる	42.0	43.8	41.2	36.8	45.2
3 学校情報を地域に積極的に提供する仕組みをつくる	32.0	37.5	29.4	29.0	29.0
4 学校・家庭・地域の果たすべき役割を明確にさせる	28.0	43.8	20.6	15.8	35.5
5 図書館の運営など区民がボランティア活動できるよう図る	16.0	18.8	14.7	15.8	16.1
6 地域の人が学校行事に参加できる体制をつくる	8.0	0	11.8	10.5	6.5
その他	6.0	6.3	5.9	10.5	3.2
問10 あなたが地域で協力できること（複数回答） <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 非行防止のため地域の子どもに気軽に声をかける	56.0	37.5	64.7	36.8	67.7
2 学校行事に積極的に参加する	50.0	43.8	52.9	47.4	0
3 地域の子ども会の活動に協力する	44.0	62.5	35.3	31.6	51.6
4 悪いことをしている青少年を注意する	42.0	43.8	41.2	26.3	51.6
5 授業や特別活動の講師をする	30.0	25.0	32.4	42.1	22.6
6 PTAが実施するパトロールに参加する	24.0	31.3	20.6	21.1	25.8
7 スポーツ指導員として協力する	12.0	25.0	5.9	5.3	16.1
その他	12.0	0	17.6	5.3	16.1
問11 これからの学校教育に期待すること（複数回答） <span style="float: right;">N = 50</span>					
1 集団生活に必要なルールを教える	44.0	31.3	50.0	31.6	51.6
2 基礎的な学力をつけさせる	42.0	43.8	41.2	26.3	51.6
3 情操・道徳教育を充実させる	42.0	62.5	32.4	47.4	38.7
4 教職員の資質を向上させる	40.0	37.5	41.2	36.8	41.9
5 教員が生徒の理解度に応じた授業をする	22.0	25.0	20.6	21.1	22.6
6 6・3・3制度や入試制度を改革する	20.0	25.0	17.6	21.1	19.4
7 学校の運営方法や授業を公開する	14.0	6.3	17.6	21.1	9.7
8 健康・体力を増進させる	12.0	18.8	8.8	10.5	12.9
9 いじめ・不登校対策など生徒指導を充実させる	12.0	12.5	11.8	15.8	9.7
10 非行・校内暴力を解消する	10.0	6.3	11.8	10.5	9.7
11 地域の特性を考慮した授業内容とする	10.0	18.8	11.8	26.3	6.5
12 職業教育など実践的な学校教育を取り入れる	8.0	6.3	8.8	5.3	9.7
その他	12.0	0	17.6	15.8	9.7